



島田 公

表彰理由: せとうち鳴門海岸の海洋プラゴミを回収するため、県・市や企業、地元団体・市民と連携し調査・回収作業を行った。また、四国の過疎地域における環境課題と社会課題の同時解決のため、温暖化対策、防災、地域再生を目的に、小規模地域資源活用発電等の自然エネルギー利活用による計測調査「地域継続計画」DCP を実証提案に取り組んだ。

自己紹介

徳島県出身、鳴門市(建築設計事務所代表)

1級建築士、エネルギー環境エキスパート、バイオマス活用 AD として、環境保全・森林保護・省エネ推進・環境教育・家づくり支援活動や、環境 NPO・地球温暖化防止活動等多面的にわたり「地域主導型」を軸に活動展開している。

環境カウンセラーとしての活動

環境課題解決すべき政策提言、調査研究、実践普及、交流等に関する事業を行い、地域文化と自治の再活性化及び、地域コミュニティが資源を維持活用、循環の仕組みや暮らし方の創出し、環境保全の技術水準の高揚、地域環境等の向上、次世代人材の育成等、循環型社会をめざした地域づくりの目的として活動実践している。

活動紹介

【四国過疎地域における自然エネルギーを活用した、次代をつくるプロジェクト&DCP(地域継続計画)構築】・・・四国の過疎現状は、少子高齢化や人口減少等の影響を受け「過疎克服」エコで快適・安心・安全な地域実現に向け、対象地域にどれ位の再生可能エネルギーがあり、日々の生活や産業・災害時にどのように活かすことができるのか、活動で得た地域のポテンシャル実証調査(エネルギー計測)を対象地区で地域住民に理解と意義を伝えるためオープン形式での実証と、同時に「見える化」対策として、空撮による地域エネルギーセキュリテイ



ーマップ作製。地域独自の自家消費型再生可能エネルギーの活用提案実証活動を展開中。

【せとうち・鳴門「ゴミ箱になった海」再生化プロジェクト】

・・・瀬戸内海徳島県鳴門市に位置する鳴門海岸にて、対象海岸における漂着ゴミとその影響による自然生態系の現状調査を先行させ現地をより詳細に把握、亀浦漁港海岸本浦地区(全長 304 ㍍)の内、今回(作業区域 151 ㍍)を、海洋プラスチックゴミをはじめとする海洋プラゴミ 0 大作戦/市民参加型海岸清掃活動の実施と、瀬戸内海(せとうちの海と環境と「海環=会話」の現状報告会、今後に繋がる海



洋プラゴミに関する環境体験学習ワークショップを開催実施している。

今後に向けて

近年の少子高齢化や人口減少を背景に、今後の活動として空き家問題対策を、脱炭素に向けた地域ゼロエミッション社会に近づけていくため、現状の空き家や既存住宅を有効活用・リユース・地域コミュニティの拠点として活用することで、豊かに暮らせる地域の価値を維持するための新たな住まい方・コミュニティづくりを多種連携の基、地域の「たまり場」となるモデル提案を通じて、行政と個人が新たな役割分担で協力し合う「場」が増やし、空き家率の高い四国 4 県の「空き家問題」解消の可能性を図り、人生 100 年時代という超高齢化社会を迎えた新たな四国 DCP スタイル展開をしたい。